

(参考) 用語説明

資料 2

五十音順	用語	ふりがな	説明
あ行	アセットマネジメント	あせっとまねじめんと	下水道を資産として捉え、下水道施設の状態を客観的に把握、評価し、中長期的な資産の状態を予測するとともに、予算制約を考慮して下水道施設を計画的、効率的に管理する手法。
	維持管理費	いじかんりひ	管きよを維持管理する費用やポンプ場を運転する費用、職員給与費、流域下水道維持管理負担金、賦課徴収委託料、修繕費等。
	一般会計	いっばんかいけい	市税収入を主な財源として行政の基本的事業に使う会計のこと。
	雨水対策率	うすいたいさくりつ	雨水全体計画面積（※）に対する雨水対策実施割合 ※市域全域
	基準内（外）繰入金	きじゅんない（がい）くりいれきん	地方公営企業法等の規定による一般会計と公営企業会計との間の経費の負担区分の原則に基づき、一般会計が負担すべき経費を基準内繰入金、それ以外を基準外繰入金という。毎年公営企業繰出金の基準が総務省から『地方公営企業繰出金について』として通知されている。
か行	公営企業	こうえいきぎょう	地方公共団体が、住民の福祉の増進を目的として、主にその経費を経営に伴う収入をもって賄うことを原則として（独立採算の原則）、直接経営する企業のこと。
	高度処理費	こうどしよりひ	環境基準の達成等の目的のため、高度に下水を処理することができる方法により、下水を処理すること。
さ行	財源試算	ざいげんしさん	経費回収率の向上等を考慮し、財源ごとに確保する手段と見通しを取りまとめること。
	資本費	しほんひ	下水道施設を建設するために借入れた企業債の支払利息等と減価償却費等を合わせたもの。
	収支ギャップ	しゅうしぎやっぷ	収益的収支において支出が収入を超過すること。
	収支均衡	しゅうしきんこう	「投資・財政計画」で求められる収支均衡は、純損益が計画期間内で黒字であること。
	受益者	じゅえきしゃ	地方公共団体が行う事業から特別な利益を受ける人。
た行	投資試算	とうししさん	目標や施設等の重要性、老朽化度合、事故発生時の影響等を考慮し、投資等の優先順位付け、平準化等による合理的な試算を取りまとめること。
	特別会計	とくべつかいけい	特定の収入、特定の支出を一般会計と切り離して独立して行われる会計のこと。
な行	内水	ないすい	河川の水を外（がい）水（すい）と呼ぶのに対し、堤防で守られた内側の土地（住居地区）の水を内水と呼ぶ。また内水氾濫とは、大雨等により水路や下水管では排除しきれない雨水が地上に溢れ出る水害のことで、河川等が溢れて洪水になる外水氾濫とは異なる。
	内水ハザードマップ	ないすいはざーとまっぷ	内水氾濫により浸水の発生が想定される区域や、実際に浸水が発生した区域の浸水に関する情報、避難場所、避難情報の伝達方法等の避難に関する情報を記載したもので、円滑な避難誘導や、浸水に関する行政・市民間の情報共有ツール等の機能を有する。
は行	PDCAサイクル	ぴーでぃーしーえーさいくる	計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→改善（Action）の4段階を繰り返す行、業務の継続的改善手法
	不明水	ふめいすい	汚水の下水道管に何らかの原因で侵入する雨水や地下水のこと。不明水が侵入することで、下水処理場の運営コストが上がり、単位量当たりの処理能力に影響をもたらす。
	平準化	へいじゅんか	ある一定期間の金額や量を均等にすること。
や行	有収率	ゆうしゅうりつ	年間有収水量÷年間汚水処理水量×100で算出される。処理した汚水のうち、使用料徴収の対象となる有収水の割合を示す。有収率が高いほど使用料徴収の対象とすることができない不明水が少なく、効率的であるといえる。
ら行	ロードマップ	ろーどまっぷ	具体的な達成目標を掲げ、目標達成の上でやらなければならないこと等達成までの大まかなスケジュールの全体像を時系列で表したもの。